

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	シルバー人材センター支援事業									
事業担当	所属	産業政策部 産業観光課					所属長	芦田 直也		
会計情報	事業コード	420102	款	05 労働費	項	01 労働諸費	目	01 労働諸費	会計	01 一般会計 決算付属資料 164 頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する						
計画期間	開始年度	昭和60年	終了予定年度	令和2年	関連計画名					
根拠法令等	福知山市高齢者労働能力活用事業費等補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	高齢者の就業機会の増大と福祉の増進(生きがいを得る)を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある社会づくりに寄与する。								
対象者	公益社団法人福知山市シルバー人材センター			対象者数	単位あたりコスト				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	60歳以上の高齢者が会員として構成され、高齢者に就業の機会を提供する公益社団法人福知山市シルバー人材センターの運営費及び各種事業に対して助成する。(補助金交付)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	15,887	高齢者労働能力活用事業費等補助金						
	役務費	7	保険料						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	17,138	15,905	15,898	15,898				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	17,138	15,905	15,898	15,898					
予算財源内訳	① 一般財源	16,616	15,366	15,354	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	522	539	544	555				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	17,138	15,905	0	0				
	③ 執行額	17,130	15,894	0	0				
	④ 執行率	100.0%	99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22/0	0.39 / 0.00	0.39 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,760	3,120	3,120	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,890	19,014	3,120						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	410	決算付属資料	32	頁
	特財名称	土地建物貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	229	決算付属資料	32	頁
	特財名称	公社継承土地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	11	決算付属資料	32	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	シルバー会員数	人	719 / 720	695 / 720	680 / 720	/ 720	720
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	業務受注件数	件	5593 / 5817	5236 / 5593	5149 / 5236	/ 5149	5149
	単位あたりコスト		3.06	3.27	3.09		
			0	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の視点からも重要である。高齢者に対し就業機会や生きがいの提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	高齢者に対する就業機会を提供し、また最低賃金の保障など現行の運営基盤を維持するためにも引き続き市が支援を行っていく必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	シルバー人材センターは高齢者に対し就業機会を提供することで、高齢者の生きがい創出や健康増進に寄与し、さらにボランティア活動の積極的な取り組みなどによる地域社会への貢献度も大きい。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>令和元年度は市補助金の削減を行った。(17,019千円⇒15,787千円) 少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少に伴う労働力不足の中、再雇用、定年の延長などの影響もあり高齢者の雇用環境が厳しくなっている。 シルバー人材センターは高齢者の就労の場、生きがいの充実を図る場としての役割を担っており、会員の能力と希望に応じた公平で適正な就業機会を提供できるよう努めている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>再雇用、定年の延長等、60歳以降の人生の選択肢が増えたことにより、シルバー人材センターの会員数が減少傾向にあるが、今後、ますます進行する高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の視点からも重要である。 シルバー人材センターについては、自立されることが望ましい形ではあるが、市として高齢者に対し就業機会の提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	敬老事業												
事業担当	所属	福祉保健部 高齢者福祉課					所属長	荒賀 正之					
会計情報	事業コード	420208	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料	128	頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市敬老会補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	多年にわたり地域社会の進展に寄与し、豊富な知識と経験を有する高齢者を敬愛するとともに、長寿を祝うことを目的として市内各地域で開催される敬老会の主催者に対して支援を行う。また、80歳(傘寿)、88歳(米寿)、90歳(卒寿)及び99歳(白寿)を迎える長寿の方と最高齢者に対し、長寿御祝品の贈呈を行い、市民の敬老意識の高揚を図る。												
対象者	70歳以上の高齢者	対象者数	18,753	単位あたりコスト	1.1								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・敬老精神の涵養と長寿を祝い開催される敬老会の主催者に運営費の一部を補助する。 ・市内最高齢者・99歳(白寿)、90歳(卒寿)、88歳(米寿)及び80歳(傘寿)の高齢者に記念品を贈呈し、長寿をお祝いする。 ・99歳(白寿)は祝状等も併せて贈呈する。100歳には書簡を贈呈。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	1,740	最高齢者や節目高齢者への祝品等										
	役務費	95	郵送料										
	負担金及び交付金	16,630	940円×70歳以上の対象者										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	19,569	20,049	20,181	21,048	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	19,569	20,049	20,181	21,048		
予算財源内訳	① 一般財源	19,569	20,049	20,181	21,048	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 67	△ 122	0	0	
	② 配当予算	19,502	19,927	0	0	
	③ 執行額	17,827	18,464	0	0	
	④ 執行率	91.4%	92.7%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.38/0	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	3,040	1,840	1,840	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,867	20,304	1,840			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	敬老会参加率	%		35 / 50	36 / 50	31 / 50	/ 50
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	市長来賓出席(代理含む)	回	42 / 42	37 / 41	35 / 36	/ 36	36
	単位あたりコスト		416.69	481.80	527.55		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	長寿を祝うという趣旨や地域行事として必要性が高い。自治会等の運営費用だけでは実施することは難しいため、必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	祝行事であり、地域でも主催者が一定の負担をしている状況である。ただし、高齢社会に伴い、年齢水準を上げる検討の余地はある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市のほぼ全ての地域で敬老会は継続して開催されており、長寿を祝うこと、敬老会の開催支援については達成できている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	敬老会の運営費の一部を補助することで、地域の敬老会が円滑に実施されている。また、市長による最高齢者訪問等の実施により、長寿の方々への感謝と敬意を表すことができていると考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	敬老精神の涵養という観点から敬老事業として敬老会の開催以外への支援も検討していく。敬老会については、令和元年度に実施した敬老会主催者へのアンケート結果を踏まえて今後の補助のあり方を検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	老人クラブ活動費補助事業												
事業担当	所属	福祉保健部 高齢者福祉課					所属長	荒賀 正之					
会計情報	事業コード	420209	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料	128	頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市高齢者保健福祉計画							
根拠法令等	福知山市老人クラブ活動費補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	老人クラブ連合会活動事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	各地域において活動している老人クラブの活動を支援し、円滑な事業実施を図る。地域の生きがいづくりや健康づくり、介護予防活動等、地域福祉の推進を図る。												
対象者	市内高齢者	対象者数	23,136	単位あたりコスト	0.4								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	生きがいづくりや健康づくりなどの活動を行っている各地域の老人クラブを支援するため補助金を交付する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	7,531	老人クラブ活動への補助(地域活動事業、視察研修事業)										
	役務費	33	老人クラブへの通信費										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,787	8,222	7,472	6,988				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	9,787	8,222	7,472	6,988					
予算財源内訳	① 一般財源	4,387	2,822	2,491	2,032				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	5,400	5,400	4,981	4,956				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	9,787	8,222	0	0				
	③ 執行額	7,415	7,564	0	0				
	④ 執行率	75.8%	92.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.24/0	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,920	1,840	1,840	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,335	9,404	1,840						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	老人クラブ活動費	種類	民生費府補助金	実績金額	4,997	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	老人クラブ会員数	人	7,306/10,000	7,268 / 7,500	6,519 / 7,000	/	6,500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	出前講座	回	2 / 10	1 / 10	0 / 10	/	10
	単位あたりコスト		3940.50	7415.00			
	普及啓発事業利用(H29～)	回	12 / 20	27 / 20	25 / 20	/	20
単位あたりコスト		656.75	274.60	302.57			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	生きがい・健康・地域づくりに貢献している老人クラブ活動への支援は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	年間事業費のうち、補助金の占める割合は平均で20%を下回っており、支援の割合としては妥当と考える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域における高齢者支援活動・見守り活動・生きがいづくり・地域交流を推進する上で、老人クラブへの支援は有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>高齢社会のもとでは、市内の各地域において生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う高齢者の自主的な組織である単位老人クラブの活動は重要であり、その活動を支援していくことは高齢者福祉の増進という観点において有意義である。出前講座の利用について、窓口にて案内しているが、講座内容がニーズと合わず、利用につながっていないのではないか、そのため見直しの検討が必要と考える。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>今後超高齢化社会において、市内の各地域でレクリエーション、スポーツ、清掃活動などの生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う単位老人クラブの活動は非常に重要である。老人クラブの活動は、高齢者と地域社会の交流、健康の増進、活動への参加による認知症予防などに大きく寄与していることから、平成29年度の変更内容の経過を見ながら補助のあり方について検討を行う。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	老人クラブ連合会活動事業												
事業担当	所属	福祉保健部 高齢者福祉課					所属長	荒賀 正之					
会計情報	事業コード	420210	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料	128	頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市高齢者保健福祉計画							
根拠法令等	福知山市老人クラブ連合会補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	老人クラブ活動費補助事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	健康・友愛・奉仕を活動の柱に「地域を豊かにする活動」や「安心安全なまちづくり」を積極的に展開している老人クラブ連合会の活動を支援することで、地域福祉、高齢者福祉の増進を図る。												
対象者	市内高齢者	対象者数	23,136	単位あたりコスト	0.3								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス												
事業概要 (簡潔書き)	・高齢者相互支援推進啓発事業、地域福祉活動等を展開している老人クラブ連合会に対して補助金を交付 ・市老連の研修バス運行支援												

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	負担金、補助及び交付金	5,015	福知山市老人クラブ連合会への補助金										
	委託料	20	福祉バス運転委託料										
	需用費	8	福祉バス燃料費										
	使用料及び賃借料	9	駐車料、高速道路通行料										
	旅費	1	福祉バス添乗旅費										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,715	5,100	5,106	6,183				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	4,715	5,100	5,106	6,183					
予算財源内訳	① 一般財源	3,880	4,265	3,847	4,950				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	835	835	1,259	1,233				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	92	0	0	0				
	② 配当予算	4,807	5,100	0	0				
	③ 執行額	4,807	5,053	0	0				
	④ 執行率	100.0%	99.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.26/0	0.28 / 0.00	0.28 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,080	2,240	2,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,887	7,293	2,240						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	老人クラブ連合会活動事業	種類	民生費府補助金	実績金額	1,209	決算付属資料	26	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	相互支援実施クラブ数	団体		59 / 150	57 / 100	52 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	相互支援連絡会の開催	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		2380.00	2403.50	2526.64		
	連絡会における市の取組啓発	回	1 / 2	1 / 2	0 / 2	/ 2	2
単位あたりコスト		4760.00	4807.00				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域福祉の推進を図るためには、まちづくりを進める核となる団体への支援は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	老人クラブ連合会への支援を継続していく上で、地域福祉の推進がどの程度図れているか検証し、より効率的に支援をしていく必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域における高齢者支援活動、見守り活動、生きがいづくり、交流などを推進する上で老人クラブ連合会への支援は有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>成果としては、地域福祉の推進に十分に寄与していると考え、客観的な指標を今後検討することも必要と考え、連合会事務局と協議しながら、さらなる地域福祉の推進に向けた方策を検討する。連合会会員は微減しているが、地域福祉の他にも交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協力いただいているため、今後も支援を行っていく必要がある。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>近年老人クラブの会員が減少し、解散クラブが徐々に増えているが、老人クラブ連合会は、老人クラブへの研修実施やスポーツ大会等の企画・開催を通じ、老人クラブへの活性化を目的に活動を行っている。また、交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協力いただいていることから、その貢献は大きく、今後も継続して老人クラブ連合会の円滑な事業運営への支援を行っていく必要がある。補助のあり方については、事業内容や事業効果等を検証する中で検討を行う。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>平成30年度より市老連との協議を継続的に実施しながら、今後の補助金の在り方について検討しているところである。福知山市老人クラブ連合会補助金と福知山市老人クラブ活動費補助金について、市老連との協議を継続する中で、一体的に見直しの検討を進める。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	高齢者福祉一般管理事業												
事業担当	所属	福祉保健部 高齢者福祉課					所属長	荒賀 正之					
会計情報	事業コード	420237	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料	130	頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	円滑な事務の推進を図る。(各事業実施のための一般事務費)												
対象者											対象者数		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記士地家屋調査士協会、株式会社システムリサーチ福知山支店												

事業概要 (簡潔書き)	旅費・消耗品費・郵送料等の一般事務費												
----------------	--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	1,283	臨時職員賃金										
	報償費	15	認知症対応型共同生活介護整備事業者選定プロポーザル選考会に係る委員等謝礼										
	旅費	16	旅費										
	需用費	465	消耗品費、備品修繕費										
	役務費、委託料	749	電話料・郵送料(319,714円)、新元号対応プログラム改修業務委託・公共嘱託登記士地家屋調査士協会業務(429,200円)										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	3,408	2,999	2,795	2,778
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	3,408	2,999	2,795	2,778	
予算財源内訳	① 一般財源	3,393	2,984	2,778	2,778
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	15	15	17	0
決算情報	① 流充用額	△ 115	△ 14	0	0
	② 配当予算	3,293	2,985	0	0
	③ 執行額	1,864	2,527	0	0
	④ 執行率	56.6%	84.7%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.21/0	0.24 / 0.05	0.24 / 0.05	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,680	2,045	2,045	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,544	4,572	2,045		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
						/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	臨時職員配置数	人	1/1	1/1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		2208.00	1864.00	2527.47	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	円滑な事務の推進のため必要である
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事務用品費、電話料等の必要経費であり、コスト削減は難しい
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	円滑な事務の推進のため必要である
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本事業については、高齢者福祉課による一般管理事業であるため、各種事務事業の円滑な推進及び事業実施のため引き続き必要である(定性評価)		
これまでの課題及び今後の方向性	円滑な事務の推進及び事業実施のため引き続き必要な事業である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	介護予防普及啓発事業												
事業担当	所属	福祉保健部 高齢者福祉課					所属長	荒賀 正之					
会計情報	事業コード	420531	款	03 地域支援事業費	項	01 介護予防・生活支援	目	01 介護予防・生活支援	会計	15 介護保険	決算付属資料	326	頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第8次高齢者保健福祉計画							
根拠法令等	介護保険法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	地域介護予防活動支援事業、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	65歳以上の者を対象に、できるだけ要介護状態になることを予防し、一人ひとりが生きがいや役割を持って生活できる地域を構築することにより、介護予防を推進する。												
対象者	市内高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (簡案書き)	・介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔、認知症予防に係る介護予防教室等の開催												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	3,661	臨時職員賃金										
	報償費	400	会館の筋筋体操、普及啓発事業に係る講師謝礼										
	需用費	215	消耗品費、備品等修繕費										
	役務費	15	郵送料										
	使用料及び賃借料	34	健幸いきいき倶楽部施設使用料										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	5,622	5,319	5,248	5,292
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	5,622	5,319	5,248	5,292	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0
	② 国支出金	1,405	1,237	1,050	1,058
	③ 府支出金	705	665	656	662
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	3,512	3,417	3,542	3,572
決算情報	① 流充用額	0	△ 38	0	0
	② 配当予算	5,622	5,281	0	0
	③ 執行額	4,772	4,325	0	0
	④ 執行率	84.9%	81.9%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.2/0.1	0.38 / 0.45	0.38 / 0.45	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	9,850	4,165	4,165	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,622	8,490	4,165		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	現年度分	種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	実績金額	1,056	決算付属資料	316	頁
	特財名称	現年度分	種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	実績金額	660	決算付属資料	318	頁
	特財名称	介護給付費繰入金	種類	介護給付費繰入金	実績金額	660	決算付属資料	318	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	65歳以上新規認定申請者割合	%		4.5/4.9以下	4.4/4.5以下	4.6 / 4.5以下	/ 4.5以下
65歳以上要支援・要介護認定率	%		21.3/21.1以下	21.5/19.9以下	21.7 / 19.9以下	/ 19.9以下	19.9以下
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	教室開催回数	回	589/588	598/619	525 / 619	/ 619	619
	単位あたりコスト		8.12	7.89	8.24		
	教室会場数	箇所	100/77	113/77	93 / 77	/ 77	77
	単位あたりコスト		47.83	57.49	46.50		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	介護給付費抑制に向けた介護予防の取組みは必須である。介護予防教室を実施している民間事業所もあるが、地域に限られているため、市として事業を実施し、その中で更なる住民ニーズの把握や市民が主体的に取組める仕組みが必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	集約型事業では、移動手段の問題があり、有料の移送サービスを利用している参加者がいるため、自己負担をとらずに実施している。それぞれの地域において体操が実施できる環境を整える等、地域主体の通いの場の創出も併せて進めていく必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	集約型事業で行った体力測定では、参加者の体力の維持・改善がみられた。また、日常生活のなかで、「階段の上り下りが楽になった」「ペットボトルのふたが開けやすくなった」などの声が多く寄せられている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域の拠点となる会場と各団体からの依頼に応じ出向いて実施しているが、新規団体・新規参加者数も増え、地域でも定着しつつある。また、運動・栄養・口腔の内容で実施しており、フレイル予防や認知症予防にもつながっていると考えられる。市オリジナル体操(貯筋体操)については、高齢者の困りごとに着目した内容となっており、自宅で継続している参加者も多い。		
これまでの課題及び今後の方向性	実施できていない地域があるため、地域の現状把握とともに他の関連事業も含めた情報提供や介護予防の取組みの必要性を理解してもらえるような働きかけが必要である。また、仲間作りや生きがい作りを通じて高齢者が主体的に取組み、支えあう地域づくりを目指す。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域介護予防活動支援事業												
事業担当	所属	福祉保健部 高齢者福祉課					所属長	荒賀 正之					
会計情報	事業コード	420540	款	03 地域支援事業費	項	01 介護予防・生活支援	目	01 介護予防・生活支援	会計	15 介護保険	決算付属資料	326	頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	未来創造 福知山、第8次高齢者保健福祉計画							
根拠法令等	介護保険法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	介護予防普及啓発事業、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、住民主体の通いの場を充実させ、人と人のつながりを通じて、参加者の通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進していく。												
対象者	市内高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.3								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修 ・介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援 ・社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	1,254	臨時職員賃金										
	報償費	146	体操指導者への報償費										
	需用費	347	消耗品費、印刷製本費										
	役務費	84	郵送料										
	負担金補助及び交付金	190	介護支援サポーター活動転換交付金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	4,391	4,110	4,905	3,690
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	4,391	4,110	4,905	3,690	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0
	② 国支出金	1,098	956	982	738
	③ 府支出金	549	514	613	461
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	2,744	2,640	3,310	2,491
決算情報	① 流充用額	0	38	0	0
	② 配当予算	4,391	4,148	0	0
	③ 執行額	2,629	2,021	0	0
	④ 執行率	59.9%	48.7%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.7/0	0.63 / 0.05	0.63 / 0.05	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	5,600	5,165	5,165	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,229	7,186	5,165		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	現年度分	種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	実績金額	404	決算付属資料	316	頁
	特財名称	現年度分	種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	実績金額	252	決算付属資料	318	頁
	特財名称	介護給付費繰入金	種類	介護給付費繰入金	実績金額	252	決算付属資料	318	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	介護支援サポーターのべ活動時間	時間		2100 / 2500	2480 / 2500	1784 / 2500	/ 2500
貯筋体操のべ参加者数	人		1600 / 1200	1219 / 2200	542 / 1200	/ 1600	6900
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	介護支援サポーター登録人数	人	138 / 140	148 / 170	146 / 158	/ 158	200
	単位あたりコスト		22.05	17.76	13.84		
	貯筋体操実施団体数	団体	57 / 50	46 / 80	25 / 80	/ 110	110
	単位あたりコスト		53.39	46.12	80.83		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	2025年には後期高齢者が大きく増加することに伴い、介護が必要になる方も大きく増加することが想定されるなか、健康寿命の延伸並びに増加しつづける医療費や介護給付費の抑制のため、介護予防は非常に重要であり、国においても地域の通いの場の創出が今後の重要施策であると位置づけられている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	これまでは、市の保健師等が地域の団体に出向いて体操を行うなどの事業を行っていたが、平成29年度から、一般市民が体操指導者となり地域で体操をするための体操指導者育成事業を開始し、各地域で住民主体となって体操の実施ができることを目指している。令和元年度末までに約80人の市民体操指導者が育成される見込みであり、徐々に地域で育成された体操指導者が自らのサロン等で行うケースが増加してきている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	平成30年度に福知山公立大学の協力のもと、市オリジナル体操である貯筋体操の効果検証を行ったところ、高齢者の身体改善・維持に効果があることが示された。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで育成した体操指導者の中で、10人以上が地域で貯筋体操教室の実施ができており、今後もサロン等で体操指導者数が自らの地域等で実施するケースが増加していくことが見込まれる。また、育成された指導者は自らの地域での活動だけではなく、出向き型事業のなかで、依頼があった地域の団体に対し派遣・活動を行っている。 ・有料化になったこともあり、出向き型事業の申込団体が減少している。また、事業の利用回数が年度3回しか利用できないため、体操の効果を発揮させるには自宅等での体操の継続が望ましいが、継続につながっていないことが多い。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市への貯筋体操教室の申し込み団体数については年々減少している。しかし、育成した体操指導者が市へ申し込みをせず、自身のサロン等で体操をしている団体もある為、その団体数について今後も把握をしていき、体操教室の広がりを評価していく必要がある。 ・年度で3回まで利用可能であるが1回のみ利用が多く、継続した体操ができていない可能性がある。年間1～3回までの体操では介護予防に意味がない為、令和2年度以降は回数制限を撤廃する。 ・介護予防体操の効果を実感し、より地域へ普及させることを目的に、週1回以上3か月間体操を実施する団体を各日常生活圏ごとにモデル団体として募集する。モデル団体には、3か月間の利用料を無料とし、体操実施前後における効果を実感してもらうために体力測定を実施する。 ・本事業を進めていくのと併せて、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業で通いの場の地域づくりに取り組み、歩いて通えるような範囲に継続して介護予防体操ができる環境づくりを進めていく必要がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	生活支援・介護予防サービス基盤整備事業												
事業担当	所属	福祉保健部 高齢者福祉課					所属長	荒賀 正之					
会計情報	事業コード	420581	款	03 地域支援事業費	項	02 包括支援・任意事業費	目	01 包括・継続ケア事業費	会計	15 介護保険	決算付属資料	328	頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第8次高齢者保健福祉計画							
根拠法令等	介護保険法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	地域介護予防活動支援事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	高齢化が進展するなか、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けていくため住民どうしの支えあいの体制づくり(生活支援体制)を構築する。要支援1・2の軽度者向けサービスが地域支援事業に移行する中で、生活支援や介護予防サービスの基盤整備を行うために地域の資源開発やサービス・支援の担い手を養成していく等地域の支え合い推進員(コーディネーター)を配置していき、日常生活上の支援体制を整備するものである。												
対象者	市内高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.5								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	地域協議体、日新包括支援センター												

事業概要 (箇条書き)	生活支援や介護予防サービスの基盤整備を行うために地域の資源開発やサービス・支援の担い手を養成していく等地域の支え合い推進員(コーディネーター)を配置していき、生活支援体制整備の支援体制を構築していく。また、令和元年度に地域包括支援センターが9圏域に再編成されることに伴い、順次各圏域に地域支援コーディネーターを配置し、地域資源や地域課題の把握、サービスの創出支援等を行っていく。												
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	賃金	6,529	臨時職員賃金
報償費	45	地域支援コーディネーター報償費	
旅費	89	旅費	
需用費	38	消耗品費	
委託料	798	地域支援コーディネーター委託料(委託包括配属分)	

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	10,724	16,078	15,537	15,658
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	10,724	16,078	15,537	15,658	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	3,159	6,190	5,982	5,950
	③ 府支出金	1,580	3,095	2,990	3,013
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	3,361	6,793	6,565	6,695
決算情報	① 流充用額	△ 2,624	0	0	0
	② 配当予算	8,100	16,078	0	0
	③ 執行額	1,379	7,498	0	0
	④ 執行率	17.0%	46.6%		
人概算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.3/0.81	0.28 / 0.70	0.28 / 0.70	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	4,425	3,990	3,990	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,804	11,488	3,990		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	現年度分	種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外)の地域支援事業	実績金額	2,886	決算付属資料	316	頁
	特財名称	現年度分	種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外)の地域支援事業	実績金額	1,443	決算付属資料	318	頁
	特財名称	介護給付費繰入金	種類	介護給付費繰入金	実績金額	1,443	決算付属資料	318	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	サービス提供地域	支え合いサービス提供地域	地域	0 / 1	0 / 2	0 / 2	/ 3
サービス検討地域		地域	3 / 3	4 / 3	5 / 6	/ 7	9
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	生活支援コーディネーター	人	2 / 2	2 / 1	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		626.00	582.50	3748.88		
	地域支援コーディネーター設置	地域	0 / 2	0 / 2	8 / 9	/ 9	9
単位あたりコスト		0.00	0.00	937.22			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	将来介護認定における軽度者が介護人材不足による問題や介護保険制度の改正等により、介護保険サービスから新総合事業のサービスへ転換される将来を見据えて、住民同士の支え合いの仕組みづくりを行っていく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	年々増加していく介護給付費の抑制のためには、これまでの介護保険制度における行政サービスだけでなく、地域住民同士のささえあいの体制づくりを行っていくことが必要である。そのためには、住民が主体的に仕組みづくりを行っていく活動に対して十分な取組支援・財政支援を行っていく必要があるが、将来的に地域で持続可能な取組みとしていくためには、補助金に頼らない制度構築も併せて考えていく必要がある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	現在はささえあいの体制づくり及びサービス構築に向けて、徐々に取組検討を行う地域が増加してきている。それに併せて、市やコーディネーターも必要に応じて地域の検討の場に向き、取組み支援を行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成27年度以降に市内各地域の地区福祉推進協議会の総会等に出席し、支え合いの仕組みづくりについての啓発を実施してきた。平成27年度より夜久野地区、平成29年度より惇明地区、成仁地区、平成30年度より大江地区において、支え合いの仕組みづくりに向けて検討会が開かれてきた。令和元年度には新たに三和地区で検討委員会が設置され、地域のささえあいの取組に向けた検討が始まった。検討会議には市担当者及びコーディネーターが出席し、取組み支援を行っている。また、令和元年度より三和地区を除く各地域に地域支援コーディネーターを配置し、地域の資源や課題把握、取組支援を行っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域のささえあいの取組について検討を開始した地域が徐々に増加してきているが、全市的に取組みを広げていけるよう、新たに配置されたコーディネーターを中心に地域と連携して取組を推進していく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	介護相談員活動事業												
事業担当	所属	福祉保健部 高齢者福祉課					所属長	荒賀 正之					
会計情報	事業コード	420552	款	03 地域支援事業費	項	02 包括支援・任意事業費	目	02 任意事業費	会計	15 介護保険	決算付属資料	328	頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する									
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	第三者である介護相談員が介護事業所等を訪問することにより、利用者本位の適正なサービス提供が行われることを目指す。												
対象者	介護相談員	対象者数	12	単位あたりコスト	324.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													

事業概要 (箇条書き)	介護相談員が、市内の介護保険施設や介護サービス事業所等を訪問し、施設や事業所の利用者からサービス提供に当たっての苦情や相談を聞き取り、利用者本位のサービスが適正に提供されているか否かを中立的な立場で判断し、必要に応じて施設・事業所に改善を要望してもらうとともに、市にサービス提供の現状について情報提供をしてもらう。												
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	1,813	介護相談員活動にかかる報償 3,850円/回										
	旅費	110	介護相談員研修等にかかる旅費										
	需用費	0	消耗品等購入										
	役務費	21	介護相談員活動保険料										
	負担金補助及び交付金	108	研修負担金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	2,458	2,462	2,472	2,472
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	2,458	2,462	2,472	2,472
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0
	② 国支出金	947	948	952	952
	③ 府支出金	473	474	476	476
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	1,038	1,040	1,044	1,044
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0
	② 配当予算	2,458	2,462	0	0
	③ 執行額	1,981	2,053	0	0
	④ 執行率	80.6%	83.4%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.15/0	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,200	1,840	1,840	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,181	3,893	1,840	

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	現年度分	種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外)	実績金額	790	決算付属資料	316	頁
	特財名称	現年度分	種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外)	実績金額	395	決算付属資料	318	頁
	特財名称	介護給付費繰入金	種類	介護給付費繰入金	実績金額	395	決算付属資料	318	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	延べ活動回数	回	498 / 576	483 / 576	471 / 576	/ 576	576
	報償費	千円	1917 / 2218	1860 / 2218	1814 / 2218	/ 2218	2218
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	活動施設数	施設	42 / 42	42 / 42	41 / 41	/ 41	41
	単位あたりコスト		46.14	47.20	50.07		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	介護サービスは閉ざされた空間で行われ、第三者のチェックが入りにくい。そのため介護相談員が各施設や事業所を回り、第三者の視点からチェックを行うことの意味は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	介護相談員への報酬費は1日3850円である。金額的には妥当と考えている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	介護相談員から毎月の活動実績報告書を提出してもらい、施設の問題点等があればそれを施設へ報告するなど介護の現場にアウトプットできている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	介護相談員を介護事業所等に派遣することで、介護サービスの提供現場に第三者が介入することができ、適正なサービス提供に寄与している。		
これまでの課題及び今後の方向性	介護サービス事業所は増加傾向にあるため、訪問施設数がさらに増加する場合には、介護相談員も増やしていく必要があるが、人材確保が困難という課題がある。介護相談員は市民目線から利用者との直接の対話を通じ、課題・ニーズを拾い上げることができ、介護事業所及び行政の橋渡し役となっていることから、本事業の有効性は高く、今後も継続的に本事業を実施していく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)